

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	30
2. 大学等名	金沢工業大学
3. テーマ	I・II複合型
4. 取組学部等名	全学部（基礎教育部、工学部、情報フロンティア学部、建築学部環境・建築学部※平成30年4月改組、バイオ・化学部）
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	(399文字)
<p>本学は、これまでに選定されたGP事業などを統合して、学生の能動的な授業への参画と授業外学修の更なる充実の仕組みを構築し、教育の質と総合的な教学マネジメントの質向上を図ります。</p> <p>具体的には、正課教育と課外教育を接続する学生の能動的な学びを支援する新たなシラバスを構築し、これにより統合型アクティブ・ラーニングのシステムを全学的に展開します。併せて学士課程全体を技術者教育の世界標準になりつつあるCDIOのフレームワークに照らし合わせ、能動的な学修が可能となる環境を整備します。</p> <p>また、現在運用しているポートフォリオを、正課と課外の両面から学修成果を可視化・分析できるように再構築・改善し、一人一人の学生の学修達成度の確認と、この情報を基にした教育内容・方法の改善をIRと組み合わせて実現します。なお、学生は定期的な達成度発表会を起点にポートフォリオにより学ぶ意義を意識する自発的な学修を行います。</p>	